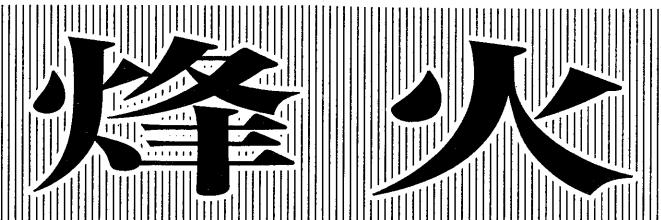


国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル（世界単一党）を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

各論の内容 イラク侵略戦争 粉碎する総決起を .....P 1~3 03春闘アピール .....P 7~10	2003年 4月1日 第573号 編集発行人 海路 薫 一部 300円	 NOROSHI	共産主義者同盟（全国委員会） ■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19 明豊ビル401号 大労協内 TEL(06)6371-3706 ○郵便振替 00930-0-63333 ○銀行口座 第一勧銀 551-1058150



米英はイラク攻撃を即時中止せよ（3月23日・大阪）

# 国際反戦運動を反帝国主義闘争へと発展させよう 侵略戦争に協力する日帝・小泉政権を打倒しよう イラク侵略戦争粉碎する総決起を

有事法案の採決を阻止せよ

三月二〇日午前（日本時間）、米・英帝国主義はついにイラク侵略戦争に突入した。米・英帝国主義は、査察継続を主張するフランスやドイツなどの国連安理会理事国多数派を無視し、これに対決しつつ単独で戦争に踏み切った。全世界で高揚する反戦の声を踏みにじり、一切をただその圧倒的な軍事力で決着づけるという態度に打って出たのだ。イラク全土に空爆が繰り返され、米・英侵略軍は、イラク諸都市における市街戦に突入しつつある。イラク人民の激烈な抵抗が始まり、そして、これに対する米・英軍によるイラク人民の大殺戮が開始されつつある。

わが同盟は、全国の労働者・学生に熱烈に呼びかける。イラク労働者人民、アラブ中東諸国の労働者人民による反米・反英（帝）闘争に連帯し、米・英帝のイラク侵略戦争を総力をあげて粉碎しよう。全世界で猛然と決起する国際反戦闘争と結合し、反戦闘争を全国で爆発させよう。米帝・ブッシュ政権を全面的・無条件に支持し、「イラク復興」を名目に自衛隊派兵を策動する小泉政権を打倒しよう！いまこそ、プロレタリア国際主義の旗を高々と掲げ反戦反帝闘争に猛然と立ち上がりなれ。

## イラク侵略戦争の犯罪性

この戦争には一片の正当性も道義性もない。ブッシュやブレアは、この戦争が「イラク国民を解放しイラクを民主化する戦争、イラク国民に自由をもたらす戦争」だと言う。この戦争が「イラク民間人に被害を与えない人道的配慮に貫かれた戦争」だと言う。「大量破壊兵器を隠し持ち、テロリストを支えるフセイン政権の脅威から自国を防衛する自衛戦争」だと言う。すべて嘘っぽいである。侵略者は自ら侵略戦争だとは絶対に認めない。

この戦争は、第一に、埋蔵量世界第二位の位置を占めるイラク石油をめぐる略奪戦争である。石油資源の確保を狙う米帝・英帝による侵略戦争である。米・英帝は、戦争突入とともに油田を無傷で確保することに血眼になっている。「イラク復興のため、イラク国民の重要な財産を守

4・12世界同時行動へ

るため」などと言いつつ、何よりも自らの利益のためにこそ油田を無傷で確保したくてたまらないのだ。

第二に、この戦争は、反米姿勢を貫くフセイン政権を打倒し、イラクに親米政権を打ち立てることによって、アラブ中東地域全域に米帝を中心とした帝国主義支配秩序を打ち立てていくための戦争である。このことが、米帝が言う「イラクを民主化し解放する」ということだ。しかも、米帝はイラク全土を軍事占領し、イラクを米軍の直接統治下に置こうとしている。だが、イラク民衆に「解放軍」として迎えられることを夢想した米帝のごく慢な願望は、当然にもすでに完全にイラク民衆に拒否され破産している。

米・英帝は、イスラエルをアラブ中東地域における帝国主義支配の要としつつ、パレスチナ人民をはじめとするこの地域における反米闘争を根こそぎ解体していこうとしてきた。このためにも、米・英帝にとっては、反米姿勢を堅持するフセイン政権を打倒することが不可欠なのだ。だが、こうした侵略者・米帝の野望とは裏腹に、戦争突入とともに、アラブ中東地域における反米(帝)闘争は燎原の火のごとく拡大している。

第三に、この戦争はイラク人民虐殺戦争だということだ。自らがイラク全土を战火にたたき込みながら、人道的な援助を開始しているなどといふペテンが通用する道理がない。「民間人に被害を与える戦争」などという米帝や英帝の嘘はすでに完全に暴かれている。戦争突入とともに、多くの民衆が犠牲となっている。また、フセイン政権を支持するか否かにかかわらず、イラクの民衆は侵略者に対する国民的抵抗を開始している。米・英帝は、これとたたかわざるえない。それは、不可避にイラク人民虐殺戦争へと結果するのだ。それだけではない。米・英帝が湾岸戦争で使用した九五万発の劣化ウラ



米英によるイラク民衆虐殺を許すな！

世界中の人民が、猛然と反戦闘争に立ち上がっている。全世界の反戦闘争の爆発は、主要帝国主義諸国とのイラク戦争に対する態度を分裂させ、ブッシュやブレアを追いつめてきた。米帝・英帝は、その巻き返しをかけてイラク戦争に突入した。だが、戦争突入によって、世界中の人民は、より猛然と米帝と英帝およびこの戦争を支持する自国政府に対するたたかいを実力で強めている。

アラブ中東諸国では、おしなべて反米(帝)闘争が燎原の火のごとく燃え広がっている。ヨーロッパ諸国や米国などの帝国主義諸国においても反戦闘争がますます広範に拡大している。ロシア、中南米、またアジア諸国・地域においても同様である。韓国では、イラク派兵法案を労働者階級の実力で阻止するたたかいが続いている。フィリピンは、「対テロ戦争」と称した米帝のフィリピン軍事介入とたたかい、アジア太平洋諸国にアジア太平洋反戦同時行動を呼びかけた。全世界で、第三世界諸国と帝国主

## 高揚する全世界人民のたたかい

ノ弾は、ウラン放射能によってイラクを汚染してきた。その結果、湾岸戦争後に、多くの子供たちが「先天性障害」やガンで苦しみ、その生命を奪われ続けている。にも関わらず、米帝は、またもやこの戦争で劣化ウラン弾を使っていることを公言している。劣化ウラン弾は、「隠された」核兵器に他ならない。ウラン放射能の半減期は四五億年と言われる。半永久的なのだ。

米・英帝によって、イラク人民はウラン放射能で幾世代にも渡って苦しめられ続けるのだ。イラク人民虐殺戦争と言わずして何と言おうか。絶対に許されない。一片の正当性も道義性もないこの米・英帝の侵略戦争を徹底して弾劾しよう。米・英帝の侵略軍をイラクから即刻たたき出すために立ち上がり。開始されたこの侵略戦争を粉碎するために総力で反戦闘争に立ち上がり。それ

日帝・小泉政権は、米帝を全面的かつ無条件に支持している。小泉は、ブッシュのやることなすことすべて追認し承認するだけである。査察継続か即戦争開始かをめぐって帝国主義各国が対立し態度が問われている時に、小泉は国内ではただ「イラクが悪い」という一点張で具体的な争点をこまかし続け、国際的には査察継続を主張する仏帝らに反対し、自ら武力行使を容認する新安保理決議の成立のためになりふりかまわぬ外交工作をおこなった。そして、米・英帝が戦争に踏み切るや、即座にこれを公然と支持した。小泉は、「この戦争がアメリカの圧勝で短期に決着することを望む」などとブッシュにこびへつらっている。同時に、「イラク復興」

A口ケットで打ち上げている。

さらに小泉は、今国会で有事法案を强行成立させ、第二次朝鮮戦争策動に拍車をかけていくこととしている。与党三党は国対委員長レベルで有事法案の国会審議を四月第一週に開始し、四月中にも衆議院で強行採決するという策動さえ開始している。小泉政府は、有事法案を何が何でも早期に強行成立させるつもりなのだ。米帝のイラク侵略戦争を全面的かつ無条件に支持する日帝・小泉政権を徹底して弾劾しよう！自衛隊のイラク派兵を阻止しよう！有事法制粉碎！四月国会審議・強行採決阻止・第二次朝鮮戦争策動粉碎！小泉政権を打倒しよう！

を名目にした自衛隊のイラク派兵を策動し始めた。イラク侵略戦争の戦後処理と利権確保のために、狡猾に立ち回ろうというのだ。

それだけではない。小泉は、米帝を全面的に支持するのは、日米同盟を堅持し朝鮮民主主義共和国への軍事的包囲を強めつつイラク戦争を遂行している。もし、この米帝のイラク侵略戦争を容認するならば、味を始めたブッシュはイラクの次に共和国への戦争策動を決定的に激化させ、共和国への戦争突入が一挙に現実化することは必至だ。また、日帝も三月二八日、共和国の軍事偵察を目的とする情報収集衛星をH2Aロケットで打ち上げている。

さらに小泉は、今国会で有事法案を强行成立させ、第二次朝鮮戦争策動に拍車をかけていくこととしている。与党三党は国対委員長レベルで有事法案の国会審議を四月第一週に開始し、四月中にも衆議院で強行採決するという策動さえ開始している。小泉政府は、有事法案を何が何でも早期に強行成立させるつもりなのだ。米帝のイラク侵略戦争を全面的かつ無条件に支持する日帝・小泉政権を徹底して弾劾しよう！自衛隊のイラク派兵を阻止しよう！有事法制粉碎！四月国会審議・強行採決阻止・第二次朝鮮戦争策動粉碎！小泉政権を打倒しよう！

こであるうと米帝は先制攻撃をもって戦争に訴えるというのだ。また、核兵器の使用についても必要ならば選択すると公言してきた。さらに、こうした自己の圧倒的軍事力の行使を軸に、国連や旧来の同盟関係さえ力づくで再編してかまわないという「連合」論を主張してきた。こうして米帝は、査察継続を主張する国連安理会理事国内の多数派を無視してイラク侵略戦争に突入した。これに対し、仏帝や独帝は反発し続け査察継続を最後まで主張した。それはまた、このイラク戦争後の戦後処理案をめぐる対立へと引き継がれている。米帝は、イラク直接統治をめざしている。獲物は自分たちのものだと宣言しているのである。

だが、米帝の願望とは裏腹に、イラク人民は激烈な抵抗を繰り広げている。アラブ中東諸国の人民は、反米闘争を拡大させている。それは頑強なものであり、アラブ中東地域の人民にとっては世代を超えた全人民的体験として反米意識が刻印されていかざるをえない。また、帝国主義諸国と第三世界諸国を貫いた反戦闘争が全世界で拡大している。そして、こうした反米闘争・反戦闘争が、帝国主義総体に対する闘争に拡大し発展することに一部の帝国主義は恐怖を言しているのである。

そうだからこそ、米・英帝によるこの野蛮なイラク侵略戦争を粉碎するたたかいは、全世界の人民の未来を大きく左右していくものである。帝国主義国の労働者階級人民にとって、帝国主義的グローバリゼーションと戦争の時代、侵略と戦争が激化する時代に、第三世界人民の反帝闘争が激化する時代に、自国帝国主義の侵略戦争を粉碎するたたかいが決定的に問われている。同時に、このたたかいを、共産主義の歴史的復権をかけたたたかいとして全力でおし進めていかねばならない。

世界中で日々成長する反戦闘争のなかでは、イラク侵略戦争に反対するだけではなく、この戦争の根柢である帝国主義による支配そのものとのたたかいへと前進する要素が拡大してきている。帝国主義のイラク侵略戦争に対する国際反戦闘争のうねりを、明確な反帝国主義闘争へと全力で発展させよう。資本主義・帝国主義を打倒する国際的な階級闘争の前進に転化させよう。旧ソ連・東欧におけるスターリン主義支配の崩壊によって大幅な後退を強いられた共産主義運動の再生をおし進めよう。すでに現在の国際反戦闘争の内部では、奮闘する共産主義勢力が大きな位置を築きあげつつある。帝国主義の侵略戦争と対決するたたかいの烈火のなかでこそ、スターイン主義と訣別した新たな共産主義運動の前進を切りひらいていくことができる。



国際反戦運動との結合を（3月20日・パリ）

## 反帝闘争を領導せよ



イラク侵略戦争を弾劾するパレスチナ民衆

覚えている。仏帝や独帝のイラク戦争をめぐる態度の背景には、こうした要因が厳として存在しているのである。

こうしたなかで、その軍事力のみを唯一の頼みとした米帝のイラク侵略戦争への突入は、現時点における米帝の強さの現れである一方で、米帝の影響力が歴史的に後退していく転換点とならざるをえない。その要因はまず、帝国主義的グローバリゼーションと戦争の時代において、主要帝国主義間の対立がますます激化していくことにある。米本国のバブル経済の破綻と期を一にして進行してきた世界的な不況を背景に、帝国主義諸国内の経済的対立が激しくなってきただけではなく、ついにイラク侵略戦争をめぐる激しい対立にまでそれは顕在化してきたのである。もうひとつの要因は、帝国主義による侵略と戦争に抗する全世界人民の抵抗闘争の激化である。米・英帝によるイラク侵略戦争の開始によって、世界は激動の時代に入りつつある。それはまた、今日の反米・反戦闘争が示しているように、全世界の人民にとって、自らのたたかいが情勢を大きく規定する一時代の到来を意味するのだ。

戦争突入というこの情勢下で、わが同盟は、声を大にして訴える。米・英帝によるこの野蛮なイラク侵略戦争を粉碎するためには、自らの利益を真に代表する共産主義運動の再生をかちとつていかねばならない。イラク侵略戦争と対決する共産主義勢力の国際的な連帯と共同のたたかいをおし進めよう。

戦争突入というこの情勢下で、わが同盟は、声を大にして訴える。米・英帝によるこの野蛮なイラク侵略戦争を粉碎するためには、自らの利益を真に代表する共産主義運動の再生をかちとつていかねばならない。イラク侵略戦争と対決する共産主義勢力の国際的な連帯と共同のたたかいをおし進めよう。

（帝）闘争に連帯せよ。フセイン政権を支持するか否かに関わらず、米・英両帝国主義の侵略戦争・軍事占領に対するイラク・アラブ中東諸国人民のたたかいは民族解放闘争である。フセイン政権とブッシュ政権を同列に置き、ただ国連を通じた平和的解決を主張する日本共産党流の平和運動への收れんを許さずたかおう。この戦争の元凶は、まぎれもなく米帝国主義である。このことを相対化し後景化するあらゆる傾向とたたかえ。一方で、イスラム主義を全面的に賛美する没階級的国際主義の誤りを弾劾せよ。イラク侵略戦争と対決する国際反戦闘争のただから、プロレタリア国際主義に貫かれた反戦・反帝闘争をこそ前進させよう。共産主義運動の国際的前進をこそ推進しよう。米・英帝によるイラク侵略戦争粉碎／日帝のイラク自衛隊派兵粉碎／有事法制粉碎／四月国会審議・强行採決阻止／第二次朝鮮戦争粉碎／総力で反戦・反帝闘争に立ち上がり！

3・20

# 開戦を弾劾して各地で抗議行動

三月二〇日、米英がついにイラク侵略戦争へと踏み出したことを弾劾して、全国各地で抗議行動がおこなわれた。アジア共同行動に参加する労働者・学生や反戦闘争実に参加する活動家たちも怒りをもって各地での弾劾行動に立ち上がった。

## 東京

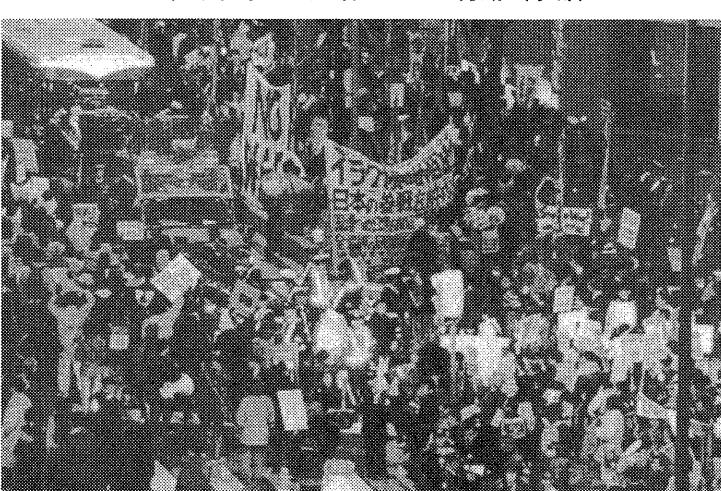
アジア共同行動・首都圏や反戦闘争実に参加する労働者・学生は、開戦の知らせを聞いてアメリカ大使館へ駆けつけた。開戦とともに、警察は大使館前で座り込んでいた人々を排除し、抗議に向かう人々を大使館の数百メートル手前のJTビル前で足止めした。抗議の声を届けようとする市民や学生が次第にその数を増していく。他方、道を挟んだ右側では戦争支持派の右翼が弱々しく戦争を擁護するアピールをおこなっていた。



アメリカ大使館に怒りの抗議行動（東京）



四条河原町での抗議アピール行動（京都）



騒然とするアメリカ領事館（大阪）

ても絶えることはなかった。

反戦闘争実はさらに、開戦を受けた。素早くこの侵略戦争への支持を打ち出した小泉政権を弾劾すべく首相官邸へと向かった。当初は手薄だった警備が、次第にその数を増し、仲間たちを取り囲む。もちろん反戦闘争実の活動家たちはそれにひるむことなく抗議行動を貫徹し、「侵略戦争を支持する小泉政権打倒!」「イー

ジス艦はアラビア海から撤退しろ!」などのシュプレヒコールをあげつづけた。

この日のアメリカ大使館への抗議行動の過程では不當にも四人の青年が逮捕されている。こうした弾圧を弾劾し、それをはねのけたたかいをさらにつづけ強化していこうではないか。

夕方の五時半から始まったこのアピール行動には二〇〇人近くが集まつた。戦争反対の訴えに対して「仕事に結集する活動家たちは、機動隊の阻止線に肉薄し、抗議行動の最前線でたたかいぬいた。駆けつけた労働者や学生が代わるがわる発言に立ち、このひとかけらの正当性もない米英の侵略戦争の発動を怒りを込めて弾劾した。抗議のシュプレヒコールは日が落ちてあたりが暗くなっ

た。戦争反対の訴えに対して「仕事に結集する活動家たちは街行く人たちの注目と関心も高く、イラク攻撃に反対し、三月二三日におこなわれるピースウォーキーへの参加を呼びかけるビラは次々となくなつていった。立ち止まつてイラク現地の写真パネルに見入る人も多い。さらに、みずから進んで署名を行ったり、自分も何かできることはないとビラまきを手伝つた。

伝う人も多くいた。プラカードをもつて歩道を練り歩いたり、マイクを手にとり口々に反戦の思い訴えたり、さまざまな若者たちで戦争反対のアピールがおこなわれた。夜八時すぎまで行動はつづけられた。

京都では、イラク反戦のためのものとも広範な実行委員会である「イラク攻撃をとめよう。歩こう、世界の人々とともに」京都実行委員会に参加する諸団体・個人によって、京都の繁華街である四条河原町の交差点付近での抗議のアピール行動がおこなわれた。アジア共同行動・京都に参加する労働者も仕事を終えて次々とこの行動に駆けつけた。

アメリカ領事館は米英による空爆開始を弾劾する声でつづまれた。一八日の最後通告以来、領事館前でのハンガー・ストライキをおこなつていたピースボートなどの若者たちをはじめ、開戦の報道を聞いて駆けつけた人など、すでにお昼過ぎには二〇〇人近い労働者・市民が領事館前に集まつて、抗議行動がつづけられた。

夜九時を過ぎるまで、抗議のシュプレヒコールは止むことなく街に響き渡つた。

## 京都

## 大阪

アメリカ領事館は米英による空爆開始を弾劾する声でつづまれた。一七時ごろには一〇〇〇人以上が領事館の前に集まり、騒然とした状況になつた。領事館前の歩道は人で溢れ、領事館のビルを包囲するようにして抗議行動がつづけられた。

夜九時を過ぎるまで、抗議のシュプレヒコールは止むことなく街に響き渡つた。

夕方の五時半から始まつたこのア

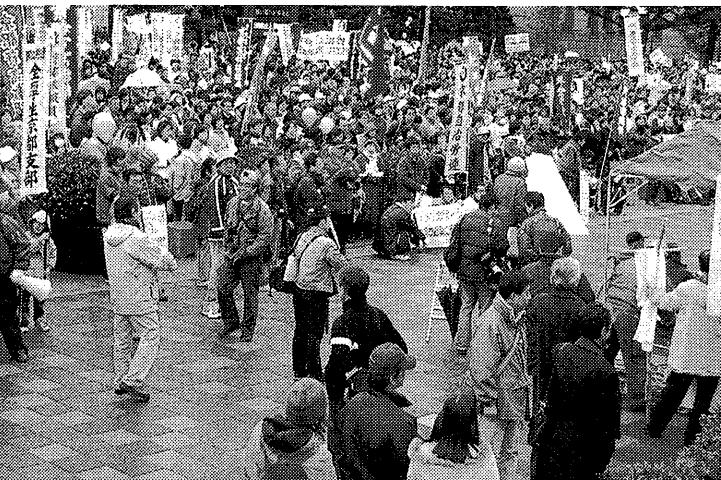
ピール行動には二〇〇人近くが集まつた。戦争反対の訴えに対して「仕事に結集する活動家たちは街行く人たちの注目と関心も高く、イラク攻撃に反対し、三月二三日におこなわれるピースウォーキーへの参加を呼びかけるビラは次々となくなつていった。立ち止まつてイラク現地の写真パネルに見入る人も多い。さらに、みずから進んで署名を行ったり、自分も何かできることはないとビラまきを手伝つた。

伝う人も多くいた。プラカードをもつて歩道を練り歩いたり、マイクを手にとり口々に反戦の思い訴えたり、さまざまな若者たちで戦争反対のアピールがおこなわれた。夜八時すぎまで行動はつづけられた。

京都では、イラク反戦のためのものとも広範な実行委員会である「イラク攻撃をとめよう。歩こう、世界の人々とともに」京都実行委員会に参加する諸団体・個人によって、京都の繁華街である四条河原町の交差点付近での抗議のアピール行動がおこなわれた。アジア共同行動・京都に参加する労働者も仕事を終えて次々とこの行動に駆けつけた。

アメリカ領事館は米英による空爆開始を弾劾する声でつづまれた。一七時ごろには一〇〇〇人以上が領事館の前に集まり、騒然とした状況になつた。領事館前の歩道は人で溢れ、領事館のビルを包囲するようにして抗議行動がつづけられた。

夜九時を過ぎるまで、抗議のシュ



## 京都市役所前に4000人が結集（3月15日）



開戦を彈劾する 3・23京都ピースウォーカー



アメリカ領事館包囲行動（3月28日・大阪）

# 京都 攻撃停止求めて五千人

四〇〇〇人が参加した。また、夕方労働者によるデモがあり、この日はあわせて四七〇〇人が反戦行動をおこなった。同実行委員会が最初に取り組んだ一月一八日の世界同時行動が六〇〇〇人の参加だったことを考えると実に八倍近い拡大である。

市役所前でのアピール行動には、

三月に入つて、京都では、「イラク攻撃をとめよう。歩こう、世界の人々とともに」京都実行委員会が呼びかけるピースウォーカーが連続的に取り組まれてきた。

世界同時行動の一環として三月一五日の午後におこなわれたピースウ

戦を彈劾する街頭アピール行動に続いて、三月二三日には鴨川の御池河川敷を出発地点にピースウォークをよびかけた。この日の参加者は前回をさらに上回る五〇〇〇人に達した。

「戦争反対」「ノー・ウォー」さまざまなシユプレヒコールが京都の街頭

河川敷で三〇分ほどの集会がもたれ、その後、四条烏丸交差点まで京都の繁華街をピースウォーカーがおこなわれた。

京都実行委員会は、米英による攻撃の即時停止を求めて連続的な行動に取り組んでいる。三月三〇日には二〇〇〇人が参加したピースウォーカーが再度おこなわれ、統いて次回のピースウォーカーが四月五日に予定されている。アジア共同行動・京都は京都実行委員会の一翼として、政治的にも実践的にもこのかんの一連の行動の牽引すべく奮闘している。

三月一六日、東京の浜松町海員会館で、アジア共同行動日本連絡会議の第八回総会が開催された。首都圏在住の日本連の仲間たちとともに、各地の実行委員会を代表する人々が参加して、昨年度の総括と今後の活動方針について活発な議論がおこなわれた。

# 第八回総会開催

# 大阪

**扇町公園に八千人結集  
米領事館に包围行動も**

市役所前でのアピール行動には、京都からイラク現地を訪問した人や在京のアメリカ人、京都弁護士会など多様な人が発言。高石友也さんが歌を披露し、加藤登紀子さんと梅原猛さんがメッセージを寄せた。世界水フォーラムの対抗企画のために来京していたフィリピンのコルディレラ人民同盟の代表もビースウォーターに合流した。ピースウォーカーの出發地点である市役所前から解散地点の円山公園までが、人の列でとぎれることなく結ばれた。

アメリカ・ブッシュ政権によつて  
イラク侵略戦争が発動されてから最初の日曜日である三月二三日、大阪・扇町公園には約八〇〇人の労働者・市民が集まつた。これは、しないさせない戦争協力関西ネットワークがこのかん呼びかけてきた集会・ピースウォーカーのなかでももつとも大きな規模のものとなつた。外国人の姿も多く見られた。

しないさせない戦争協力関西ネットでは、一月一八日や二月一五日の国際同時行動を大阪の地で呼びかけたとともに、三月は八日から毎週末にピースウォーカーをおこなつてゐる。

三月二一〇日の開戦日には夕方から四〇〇人の結集で米領事館への彈劾行動をおこなった。こうして連続的な展開を積み重ねるなかで、ピースウオークへの参加者も拡大していくのである。

さらに、三月二一八日には六〇〇人が参加して、アメリカ領事館包囲行動がおこなわれている。工夫をこらしたプラカードやキャンドルライトを使った市民や労働者、学生が領事館のビルは人の波で何重にも取り囲み、さまざまなシュプレヒコールが響いた。翌二九日にもピースウオークが行われている。

権による生活破壊・権利破壊攻撃に反対し、労働者の国際連帯を進める、  
④アジア各国・地域や米国の労働者・民衆との国際連帯を進める、の四点を軸とした方針が確認された。そのうえで、イラク反戦運動や日米による第二次朝鮮戦争策動に対するたかい、日本連の組織的な強化について活発な議論が交わされた。

国際反戦運動との結合をその先頭で推進し、米国の「対テロ戦争」と日本の戦争国家化に対してたたかってきた昨年度の活動を引き継ぎ、全国と各地でさらなる活動の前進をかちとらう。

ると実に八倍近い拡大である。市役所前でのアピール行動には、京都からイラク現地を訪問した人や在京のアメリカ人、京都弁護士会など多様な人が発言。高石友也さんが歌を披露し、加藤登紀子さんと梅原猛さんがメッセージを寄せた。世界水フォーラムの対抗企画のために来京していたフィリピンのコルディレラ人民同盟の代表もビースウォーカーに合流した。ビースウォーカーの出発地点である市役所前から解散地点のことなく結ばれた。

京都実行委員会は三月二〇日の開

イラク侵略戦争が発動されてから最初の日曜日である三月二三日、大阪・扇町公園には約八〇〇〇人の労働者・市民が集まつた。これは、しないさせない戦争協力関西ネットワークがこのかん呼びかけてきた集会の姿も多く見られた。

ビースウォーカーのなかでももつとも大きな規模のものとなつた。外国人トでは、一月一八日や二月一五日の国際同時行動を大阪の地で呼びかけたとともに、三月は八日から毎週末にビースウォーカーをおこなつてゐる。

三月二一〇日の開戦日には夕方から四〇〇人の結集で米領事館への彈劾行動をおこなった。こうして連続的な展開を積み重ねるなかで、ピースウオークへの参加者も拡大していくのである。

さらに、三月二一八日には六〇〇人が参加して、アメリカ領事館包囲行動がおこなわれている。工夫をこらしたプラカードやキャンドルライトを使った市民や労働者、学生が領事館のビルは人の波で何重にも取り囲み、さまざまなシュプレヒコールが響いた。翌二九日にもピースウオークが行われている。

権による生活破壊・権利破壊攻撃に反対し、労働者の国際連帯を進める、  
④アジア各国・地域や米国の労働者・民衆との国際連帯を進める、の四点を軸とした方針が確認された。そのうえで、イラク反戦運動や日米による第二次朝鮮戦争策動に対するたかい、日本連の組織的な強化について活発な議論が交わされた。

国際反戦運動との結合をその先頭で推進し、米国の「対テロ戦争」と日本の戦争国家化に対してたたかってきた昨年度の活動を引き継ぎ、全国と各地でさらなる活動の前進をかちとらう。

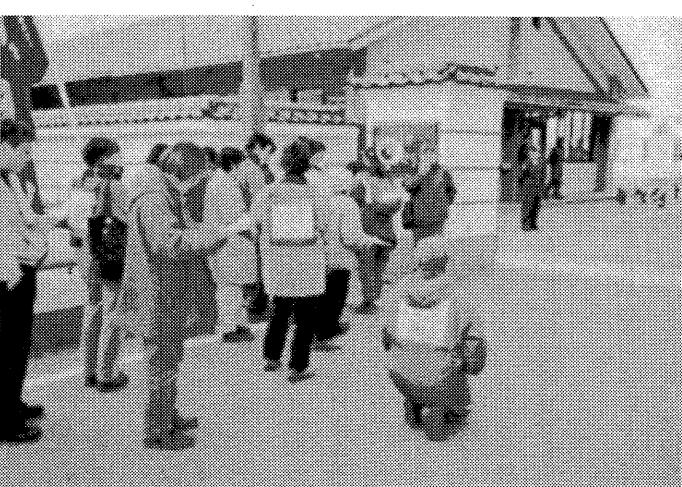
# AWC日本連が 第八回総会開催



反戦闘争実による米大使館抗議行動（3月15日）



イラクと朝鮮半島での侵略戦争反対！（3月15日・東京）



自衛隊の東ティモール派兵に抗議（3月14日・京都）

三月一五日、なりふりかまわざイラク攻撃に突進するブッシュ政権に全世界から非難の声が高まる中、反戦闘争実行委の約三〇人の活動家はアメリカ大使館前に結集し、ブッシー政権に抗議の声をたたきつけた。AWC日本連を代表して連帯発言した斎藤一雄さんをはじめ、労闘・労活評、沖縄文化講座、派兵反対実の仲間などから、ブッシュ・小泉を弾劾することもこの戦争を阻止するため全力で奮闘する決意が述べられた。全国労政からは、全世界で高まりつつある反戦の声を反帝国主義の闘いへと高揚させていく任務を担つていこう、とのアピールがなされた。そして大使館職員に要請文を手渡した。大使館員によれば要請文は（当然にも）米本国へ送られるとのことである。ブッシュ政権は全世界の反戦の声を聞け／ただちに中東から米軍を撤退させよ／シユプレヒコールをあげて行動を終了した。

その後、原宿の千駄ヶ谷区民会館での「イラクと朝鮮半島に平和を！」ブッシュ・小泉の戦争政策を許さない／三・一五日韓連帯アクション」に合流した。高まりつてある朝鮮半島の軍事的緊張を迎え撃つとともに、アメリカのANSWERが呼びかけ世界同時反戦行動の一翼を担うも

ラク攻撃に突進するブッシュ政権に全世界から非難の声が高まる中、反戦闘争実行委の約三〇人の活動家はアメリカ大使館前に結集し、ブッシー政権に抗議の声をたたきつけた。AWC日本連を代表して連帯発言した斎藤一雄さんをはじめ、労闘・労活評、沖縄文化講座、派兵反対実の仲間などから、ブッシュ・小泉を弾

劾することもこの戦争を阻止するため全力で奮闘する決意が述べられた。全国労政からは、全世界で高まりつつある反戦の声を反帝国主義の闘いへと高揚させていく任務を担つていこう、とのアピールがなされた。そして大使館職員に要請文を手渡した。大使館員によれば要請文は（当然にも）米本国へ送られるとのことである。ブッシュ政権は全世界の反戦の声を聞け／ただちに中東から米軍を撤退させよ／シユプレヒコールをあげて行動を終了した。

その後、原宿の千駄ヶ谷区民会館での「イラクと朝鮮半島に平和を！」ブッシュ・小泉の戦争政策を許さない／三・一五日韓連帯アクション」に合流した。高まりつてある朝鮮半島の軍事的緊張を迎え撃つとともに、アメリカのANSWERが呼びかけ世界同時反戦行動の一翼を担うも

ラク攻撃に突進するブッシュ政権に全世界から非難の声が高まる中、反戦闘争実行委の約三〇人の活動家はアメリカ大使館前に結集し、ブッシー政権に抗議の声をたたきつけた。AWC日本連を代表して連帯発言した斎藤一雄さんをはじめ、労闘・労活評、沖縄文化講座、派兵反対実の仲間などから、ブッシュ・小泉を弾

劾することもこの戦争を阻止するため全力で奮闘する決意が述べられた。全国労政からは、全世界で高まりつつある反戦の声を反帝国主義の闘いへと高揚させていく任務を担つていこう、とのアピールがなされた。そして大使館職員に要請文を手渡した。大使館員によれば要請文は（当然にも）米本国へ送られるとのことである。ブッシュ政権は全世界の反戦の声を聞け／ただちに中東から米軍を撤退させよ／シユプレヒコールをあげて行動を終了した。

その後、原宿の千駄ヶ谷区民会館での「イラクと朝鮮半島に平和を！」ブッシュ・小泉の戦争政策を許さない／三・一五日韓連帯アクション」に合流した。高まりつてある朝鮮半島の軍事的緊張を迎え撃つとともに、アメリカのANSWERが呼びかけ世界同時反戦行動の一翼を担うも

ラク攻撃に突進するブッシュ政権に全世界から非難の声が高まる中、反戦闘争実行委の約三〇人の活動家はアメリカ大使館前に結集し、ブッシー政権に抗議の声をたたきつけた。AWC日本連を代表して連帯発言した斎藤一雄さんをはじめ、労闘・労活評、沖縄文化講座、派兵反対実の仲間などから、ブッシュ・小泉を弾

劾することもこの戦争を阻止するため全力で奮闘する決意が述べられた。全国労政からは、全世界で高まりつつある反戦の声を反帝国主義の闘いへと高揚させていく任務を担つていこう、とのアピールがなされた。そして大使館職員に要請文を手渡した。大使館員によれば要請文は（当然にも）米本国へ送られるとのことである。ブッシュ政権は全世界の反戦の声を聞け／ただちに中東から米軍を撤退させよ／シユプレヒコールをあげて行動を終了した。

その後、原宿の千駄ヶ谷区民会館での「イラクと朝鮮半島に平和を！」ブッシュ・小泉の戦争政策を許さない／三・一五日韓連帯アクション」に合流した。高まりつてある朝鮮半島の軍事的緊張を迎え撃つとともに、アメリカのANSWERが呼びかけ世界同時反戦行動の一翼を担うも

ラク攻撃に突進するブッシュ政権に全世界から非難の声が高まる中、反戦闘争実行委の約三〇人の活動家はアメリカ大使館前に結集し、ブッシー政権に抗議の声をたたきつけた。AWC日本連を代表して連帯発言した斎藤一雄さんをはじめ、労闘・労活評、沖縄文化講座、派兵反対実の仲間などから、ブッシュ・小泉を弾

劾することもこの戦争を阻止するため全力で奮闘する決意が述べられた。全国労政からは、全世界で高まりつつある反戦の声を反帝国主義の闘いへと高揚させていく任務を担つていこう、とのアピールがなされた。そして大使館職員に要請文を手渡した。大使館員によれば要請文は（当然にも）米本国へ送られるとのことである。ブッシュ政権は全世界の反戦の声を聞け／ただちに中東から米軍を撤退させよ／シユプレヒコールをあげて行動を終了した。

その後、原宿の千駄ヶ谷区民会館での「イラクと朝鮮半島に平和を！」ブッシュ・小泉の戦争政策を許さない／三・一五日韓連帯アクション」に合流した。高まりつてある朝鮮半島の軍事的緊張を迎え撃つとともに、アメリカのANSWERが呼びかけ世界同時反戦行動の一翼を担うも

## 3・15 東京 日韓連帯を掲げて集会

本では（運動の場に）年配の人が多く緊張するが、年をとっても闘つておられることに敬意を表す」とユーモア交じりにエールを送られ、韓国を盛り上げた。さらに現在の韓国の状況について、昨年六月の米軍装甲車による女子中学生焼き殺事件

のでもあった。かつて無いほどの反戦のうねりの高まりの中、五〇〇人もの参加者で会場に入りきれないほどであった。

オーブニングは韓青同の皆さんに

ヨーロッパのサムルノリのパフォーマンス。

「ブッシュこそ平和の敵だ！」と力強くコールした。

主催あいさつに立った日韓民衆連

帶全国ネットの渡辺さんは、米帝ブ

ッシュ政権のイラク戦争の次なる狙

いが朝鮮半島であることを指摘。

「近くに北朝鮮問題を抱える我が国

にとって日米同盟は最優先」と言い

なす小泉政権を「絶対に許してはな

らない」と厳しく批判した。

沖縄からは新崎盛暉さんが発言。

イラク戦争の危機を九・一一事件か

らではなく戦後の米帝の支配戦略か

ら見直すべきだということ、日帝が

北朝鮮敵視キャンペーンを行う目的

は有事体制の確立にあるということ

など、現在の情勢をどのような視点

から見るべきなのかを明確にまとめ

提示された。

韓国からはチョン・スヨンさんが

発言。韓国でも現在反戦、反米軍運動

が大きく盛り上がり、チヨン

さんは約七〇〇団体で構成されたネ

ットワーク「戦争反対平和実現共同

実践」の状況室長を担っておられる

本はかつての東ティモール占領に対

したことである。チヨンさんは「日

本では（運動の場に）年配の人多く

が緊張するが、年をとっても闘つ

ておられることに敬意を表す」と

ユーモア交じりにエールを送られ、韓

国を盛り上げた。さらに現在の韓

国の状況について、昨年六月の米軍

装甲車による女子中学生焼き殺事件

を経て世代を超えた反戦意識が形成

されてきたこと、世論調査で八六%

が反米感情を示すなど米軍への怒り

が反戦運動の支えになっていること

を報告された。韓国での運動が全国

が反戦運動の支えになっていること

## ★03春闘アピール

# 戦争とグローバリゼーションに対決する労働者階級の团结を強化しよう

全国のたかう労働者のみなさん。戦争と失業の嵐が吹き荒れるなか、これに抗して各地で○三春闘がたたかいめかれている。ブルジョアジーの攻撃はかつてなく強まっている。連合指導部をはじめとする労資協調派は、総資本の意向に全面的に迎合することで、ますます労働者階級の利益とは無縁な存在になりはてている。もはや資本・国家とたかうことなくしては、また連合指導部に全権をゆだねていたのでは、雇用も生活も権利も守れない時代がまちがいなくやってきている。職場・地域・街頭で労働者大衆をねばり強く組織しながら、日本の労働運動の現状を根本から変革するためにたかおう。

## 侵略戦争と闘う 世界の労働運動

巨万の労働者階級が国際的に連帯して、たたかいに立ち上がっている。米帝ブッシュ政権・英帝ブレア政権を中心にしてもくろまれてきたイラク侵略戦争に対して、ベトナム反戦闘争以来と形容される反対運動が盛り上がりをみせってきた。本年に入つて戦争の危機が高まるにつれ反対運動も勢いを増し、戦争前の1月から3月にかけて三度、大規模な国際共同行動が組織された。二月十五日には欧米諸国を中心にして一〇〇〇万人にのぼる一大反戦行動が実現した。そして、三月二十日の開戦とともに、全世界で戦争を即時中止せよの巨大な声が巻き起こり始めた。まさに歴史的といえるたたかいがうちつづいている。

各国の反戦運動の主力は労働者階級がなっており、多くの国で労働組合がたたかいの先頭に立っている。米国では二月、AFL-CIO（アメリカ労働総同盟・産別労組会議）が、組合員大衆の反戦の声に押されてイラク攻撃反対を決議した。同じく二月、US LAW（戦争に反対するアメリカ労働者）が呼びかけた「反イラク戦争国際労働者宣言」には、世界一億三〇〇〇万人の労働者を代表する五三カ国・二〇〇以上の労働組合が署名した（「レイバーネット」による）。フィリピンや韓国ではKMU、民主労総といった労働団体が反戦闘争を牽引している。また日本では、全港湾や全日建がイラク攻撃反対を決議し、開戦翌日に職場集会やストライキを行なった。

各国の労働者が国際的に連帯して、帝国主義の侵略戦争を阻止するために力を合わせてたたかうことは、プロレタリア運動のもつとも重要な

## 連合の03春闘 方針のおやまり

しかし、わが国最大のナショナルセンターである日本労働組合総連合会（連合）の指導部は、米英を中心にイラク戦争が準備され、これに日本が参戦をもくろむという重大な局面と重なった○三春闘において、傘下組合員に戦争反対に立ち上がるうという呼びかけをほとんどしなかった。連合指導部は本年一月に開催された中執で、「二〇〇三年・連合国民運動」として「核兵器廃絶、北方領土返還、在日米軍基地の整理・縮小」という方針を決定している。これが彼らの政治運動の内容であり、世界の労働者が反戦の声をまさに世界的な規模で強め始めよ

うとしていた時期に採択された方針であった。要するに連合の運動方針は、労働者階級が直面している政治闘争上の焦点とは無関係なものであるばかりでなく、その内容において帝国主義ブルジョアジーへの屈服・階級協調主義そのものなのである。

経済闘争・賃金闘争の面においてはどうか。

○三春闘において連合指導部は、「雇用確保」「雇用重視」を理由に二年連続でベア統一要求の設定を放棄し、「賃金カープ（定期昇給相当分）の維持確保」という方針を立てた。一方、かつて第一次帝国主義戦争の前夜においては、第二インターに結集するヨーロッパの労働者階級はバーゼル宣言（一九一二年）を採択し、戦争の勃発に反対するとともに、もし戦争が起きたら、それによってつくりだされる危機を利用して資本主義の没落を早めるためにたたかうことを決議した。こうした労働者階級の国際的な経験がいまこそ想起されねばならない。労働者階級は帝国主義の戦争に対しては、国境を越えた国際的な連帯と團結をもつてこれにこたえねばならない。とりわけ他国の侵略・支配に動員される帝国主義本国の労働者階級は、このことには徹底的に自覚的であるべきだ。みずから労働条件を改善していく経済闘争と、帝国主義戦争に反対する政治闘争を固く結びつけてたたかうことだが、いまほど全世界の、そしてわが国の労働者階級に問われている時はない。

しかし、わが国最大のナショナルセンターである日本労働組合総連合会（連合）の指導部は、米英を中心にイラク戦争が準備され、これに日本が参戦をもくろむという重大な局面と重なった○三春闘において、傘下組合員に戦争反対に立ち上がるうという呼びかけをほとんどしなかった。連合指導部は本年一月に開催された中執で、「二〇〇三年・連合国民運動」として「核兵器廃絶、北方領土返還、在日米軍基地の整理・縮小」という方針を決定している。これが彼らの政治運動の内容であり、世界の労働者が反戦の声をまさに世界的な規模で強め始めよ

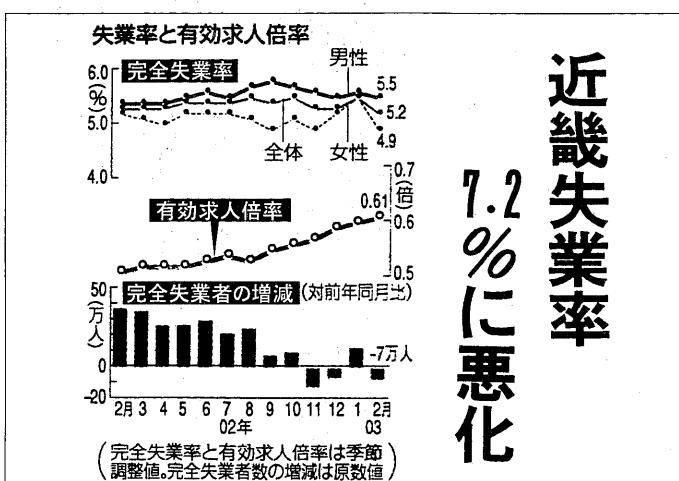
うとしたよう、連合の春闘から賃金闘争すら消え去るうとしている。賃金闘争がなくなれば、連合のいう「春季生活闘争」そのものが無意味になる。前出の経労委報告は次のように「予言」していた。「労組が賃上げ要求を掲げて、

実力行使を背景に、社会的横断化を意図して「闘う」という「春闘」は、大勢においては終焉した。「今季の春季交渉は、いわば闘う『春闘』ではなく、討議し検討する『春討』としての色彩が強まるであろう」。連合春闘にかぎっていえば、まさにその通りの展開となつた。こうした春闘終えん論に呼応していく声も連合内部で強まっている。

連合は今春闘過程を通じて総資本との協調・ゆきの関係をいっそう強めた。たとえば、春闘を前にして昨年一月、連合は政府(厚生労働省)、日本経団連とのあいだで「政労使雇用対策会議」を開き、「労働条件の弾力化」「就業形態の多様化」「労働法制の見直し」などを含む「雇用問題に関する政労使合意」をかわしている。内容もひどいものだが、こんなことを春闘に行なつておれば、春闘が空洞化するのも当然である。また本年一月には、連合笹森会長は自民党大会に連合会長としてはじめて出席し、「雇用を守るために、建前は横に置き、やれることはなんでもやる」とあいさつしたという。落ちるところまで落ちたというほかない。

とくに注目しておくべきことは、ここ数年、ペア放棄(労)やペア論外(資)の根拠として、「労使」双方の側から共通に、日本の国際競争力の再建・強化をはからねばならないということが声高に呼ばれていることである。経労委報告は第一章の冒頭を「国際競争力の減退とグローバル化への対応」というテーマで始め、「国際競争力の劣化への懸念を回避するには、産業・企業自らが、生産性に応じた人件費コストの決定、一層の生産性向上」などに全力を傾注することが必要との結論をうちだしている。また日本経団連会長は本年一月、連合との「労使の首脳会談」において、「日本の課題は国際競争力。四九カ国中三〇位に急激に落ちている。国际競争力の視点から國のしくみ、働き方を見直す必要がある」と述べたという(連合ニュース)。たしかにグローバリゼーション(独占の世界化)の進展のなかで、各国独占資本—多国籍企業間の世界大の競争が激化しており、日本の独占資本を代表する財界団体が強い危機感をもつて、このような言辞をくり返しているのは、ある意味では当然といえる。問題は、日本最大の労働団体であることを自負する連合の指導部が、こうした主張に完全に取り込まれてしまい、多くの労働者に誤った考え方を植え付けようとしていることにある。

その先頭に立っているのが連合内の自動車・電機などを中心とするIMF・JC(金属労協)の右派勢力である。たとえば、昨年六月、連合中央委員会で自動車総連は次のように発言している。「製造業の国際競争力の確保は、産業の問題だけでなく、日本全体の課題」「今後の春闘における労使の対決点は、労働に相応しい労働条件か、国際競争力に相応しい労働条件かに



## 近畿失業率 7.2%に悪化

7.2%に悪化

する。同年七月に行なわれた電機連合大会での鈴木委員長発言は、より直接的である。「私たちが発展途上国に駆逐されようとしている現実を認めないわけにはいきません」「国際競争力の低下は企業の存続そのものを左右し、ひいては組合員の『雇用問題』に直結することになります」「グローバル経済下において賃金を考える際には、今や日本の労働コストと国際競争力の関係を無視しては考えられないという時代になった」。雇用を守るために企業の存続が必要であり、企業を存続させるためには賃金を切り下げるでも企業の国際競争力を高めることが必要だと言っているのである。連合側のこうした対応を踏まえて日本経団連会長は本年二月、「経営側の考え方に対し組合の理解が深まつており、今春闘の交渉はあまりむずかしいものにはならないと思う」と語った。連合指導部の主張は、世界でも有数の生産高やシェアを誇る日本の多国籍企業の対外展開の強化を尻押しするものであり、労働者階級の国際的な連帯や結合ははなから問題にもなっていないばかりか、むしろ国際労働者階級の内部に对立と反目をつくりだしていく内容になっている。それは、危機の時代にはもっと露骨な排外主義に発展・転化していく危険がある。

雇用重視を口にする連合指導部は、しかし、労働者の雇用を守るために力をつくしてきたといふわけでは決してない。反対に彼らは、このかん大規模なリストラを容認してきたし、そうしつづけることで雇用不安・失業者の増加という事態を悪化させてきた。その結果、連合は組合員を大幅に減少させることになり、いまやこれに歯止めをかけることができなくなっている。一九八九年に連合が結成されたとき傘下組合員数は七九八万人と発表されたが、〇二年にはその数は七〇二万人であった。一三年間で九六万人の減である。リストラに積極的に協力してきたIMF・JC(金属労協)の七産別は〇一年だけで一二二万六〇〇〇人も組織人員を減らす必要がある」と述べたという(連合ニュース)。

事実、大企業労組のペア放棄が、他の労働者の賃金に及ぼす影響はきわめて大きい。まずはそれは「民間準拠」を論拠にして決められる国家・地方公務員四三〇万人の賃金に直接波及する。昨年八月、連合〇二春闘のペア・ゼロという結果を受けて、人事院は一般職国家公務員給与について行政職で平均二・〇三% (月額七七七円) 引き下げるという勧告を行なつた。一九四八年以降の人事院勧告史上初めての月額基本給引き下げ勧告であった。公務員の賃金は四年連

統で減少となつてゐる。さらに連合のベア放棄は、地方最低賃金を規定する中央最低賃金審議会の答申内容に反映し、また中小企業の労働者や非正規雇用労働者の賃下げの口実として利用されている。

連合○三春闇はわが国の圧倒的多数の労働者の利益を守るものでもなく、また多くの労働者を取り巻いている困難な状況を打開するものでもなかつた。わが国の多くの労働者にとって、当面する共通の切実な問題は、戦争、失業、雇用不安、現在と将来の生活の不確かさの問題である。賃金収入の減少が四年連続でつづいている。年休取得率が低下し、残業時間が増え、長時間・過密労働のなかで過労死する労働者が続出している。自殺者は九八年以降、連続して三万人を超えて、とくに中年男性の死亡者が増加している。野宿労働者も増加しつづけている。「障害者」の法定雇用率一・八%未達成企業が過去最多となつてゐる。枚挙にいとまがないこうした労働者階級の、生死にも関わる諸問題に立ち向かい解決する内容を連合春闇は少しも示すことはなかつた。

## ☆ 失業と非正規雇用労働者の増大 ☆

失業者および非正規雇用労働者が急速に増加しているという事態のなかに、わが国の労働者階級がおかれている深刻な状況が端的に示されている。労働者階級はみずから労働力を売ることで生きる手段をもたない存在である。失業者は生きる手段を奪われるということである。「非正規雇用」は最低限の生活すらままならないくなるということを意味する。

○二年の完全失業率は五・四%となり、過去最悪を記録した。日本の「完全失業率」という基準は、調査した月末の週のうち一時間でも働いていればその人を失業者にカウントしないといふ不完全なものである。米国の失業率の基準を適用すると、日本の失業率は現在の二倍の一〇%近くになるという試算もある。だが不正確な政府統計によつても、たとえば一〇年前の九三年の「完全失業率」をみると一・五%であり、失業者が急増していることだけは歴然としている。

労働力調査(速報)によれば、本年一月の完全失業率は五・五%、過去最高となつた。完全失業者は三五七万人(男二二三万人、女一四四万人)、前年同月と比べ一三万人増加している。いろいろな理由から求職活動をあきらめている実質的な失業者といえる「就業希望の非労働力人口」は、一〇一年八月の数値で五六八万人にものぼる。現在の失業問題で特徴的な点としては、女性の失業率の増加(二年に五・五%で過去

最高を記録)、世帯主失業者の増加(一〇〇万人前後で推移)、長期失業者の増加(一〇一年で一年以上の失業者九二万人、全体の二七・四%を占める)、若年層の失業率の異常に高さ(一五・二四歳の失業率は〇一年で九・六%)などがあげられる。また就業者数・雇用者数とも減少傾向がつづいていることも大きな特徴である(〇三年一月の就業者は六二〇三万人で二二一カ月連続減少、雇用者は五一八九万人で一七カ月連続して減少)。

失業者の増加と非正規雇用労働者の増加とのあいだには、一定の相関関係がある。失業者の多くは再就職できたとしても以前より悪い労働条件で働くこと、一般的であり、失業者の増加は非正規雇用労働者の増加につながっている。また非正規雇用労働者は解雇の対象にされやすく、非正規雇用労働者の増加は失業者の増加につながるという関係がある。

非正規雇用労働者の増加もまたきわめて急速である。正規職員・従業員でないという意味でのパート、アルバイト、契約、嘱託、非常勤、派遣などとさまざまに呼ばれる非正規雇用労働者は、本年二月に発表された労働力調査速報(〇二年一〇・一二月平均)によれば、一五一〇万人に達し、全労働者の三〇・五%を占め、ついに三〇%を突破した。増加の最大の原因は、正規雇用を非正規雇用に置き換える企業の動きが急速に進んでいることにある。たとえば〇一年には正社員が一七〇万人減る一方、逆に非正社員は二一〇〇万人増えたという統計もある。

非正規雇用労働者の七四%がアルバイトを含むパートなど短時間雇用労働者(週の労働時間が三五時間未満)である。〇一年の調査では、全事業所の六二・一%がいわゆる「パート等労働者」を雇用している。雇用理由としては「人件費が割安だから」が七割近くにのぼる。〇二年の平均では時間あたりの給与額は一般労働者二四六〇円に対し、パート労働者は九八一円にすぎない。だが、パート等労働者のうち四〇・七%が、正社員と同じ職務・責任をもたされていいるという(〇一年)。資本は彼らを安い賃金で雇用し、基幹労働力として働くかせようという虫のいいことを考えているのである。

このかん急増しているのが派遣労働者である。

○一年の派遣労働者数は約一七五万人、前年度比二六・一%の増加であり、この五年間で倍増している。一七五万人の内訳は、「登録型」が約一四五万人、常に派遣元に雇用されている「常用型」が約三〇万人となっている。

こうした失業者の増加、非正規雇用労働者の急増という事態は、けつして一過性のものではない。またたんにデフレ・長期不況によるものでもない。それは独占資本が強力に要求してきた「労働力流動化」政策の結果であり、少なくとも九五年に日経連が提唱した「新時代の日本的経営」にまでさかのぼる独占資本の長期戦略

によつてもたらされているものである。「新時代の日本の経営」では、「長期蓄積能力活用グループ」と名づけられた一部エリート層以外の大半の労働者を、年功賃金とともに終身雇用とも無縁な、有期雇用・低賃金・長時間労働の非正規雇用労働者に変えていく構想が示されている。結局のところ「総額人件費の抑制」といわれるようになり、労賃部分を削りとり、労働者の肉体と生活を犠牲にして国際競争力を強化し、独占資本とその取り巻き連中のみが繁栄を謳歌していくことが追求されてきたのである。そして現在、小泉政権のもとで、労働法制の大改悪をもつて雇用・労働に関する規制を大幅に緩和し、こうした動きをさらに加速していくこととする攻撃が本格化している。労働基準法・労働者派遣法の改悪である。政府・厚生労働省は今通常国会でこれらの法案を通過させることをもくろんでいる。改悪の内容は、次のようなものである。

### ●解雇の「原則自由化」

今回の労基法改悪においては、いわゆる「解雇ルール」の法制化が意図されている。法案のなかには「使用者は(法律で制限されている場合をのぞき)労働者を解雇することができる」という表現が盛り込まれている。これは原則として資本家に解雇権があることを認め、資本による解雇の自由を明文化しようとするものであり、これまでの判例で確立してきた「整理解雇の四要件」を無意味なものにしようとするものである。こうした条文を入れることによって、労働者の最低限の労働条件を保護するという労基法の基本的性格をゆがめようとするねらいも込められている。また、厚生労働省がまとめた「建議」の段階では、たとえ裁判所が解雇を無効と判断しても企業は「金錢賠償」で労働者を職場から追放できるという、完全に資本家の利益に立った「解雇ルール」案が入っていた。労働側の強い反対を前にして今回の改悪案からは削除されたが、将来、復活してくる可能性は大きいにある。

### ●有期雇用の上限期間の延長

具体的には、パート労働者など有期契約労働契約期間の上限を現行原則一年から三年に延長する、弁護士・医師などの専門的な技能・経験をもつ労働者の労働契約についてはその上限を現行三年から五年にするというものである。これまで一般的であった「期間の定めのない雇用」としての終身雇用制の解体を法制度の面からも促進し、常用雇用よりも安上がりの有期雇用を拡大しようとする動きである。労働者は三年または五年にわたって拘束される一方、三年または五年で使い捨てられる危険があり、「労働者五年拘束と若年定年制の合法化」につながると批判されている。

### ●裁量労働制の要件緩和と対象の拡大

そもそも裁量労働制はサービス残業を合法化し、職場に長時間労働をまん延させるものであ

るが、今回の労基法改悪案は、それをさらに押し進めようとするものである。改悪法案は、これまで本社などで企画・立案・調査などを行なう労働者に適用されてきた「企画業務型裁量労働制」の対象を広げ、裁量労働制の運用などに関わる手続きを簡素化して、企業が裁量労働制の導入や拡大をよりやりやすくなるようにしようとしている。さらに今後の課題として、政府・厚労省は「ホワイトカラー・イグゼンブション」の導入を考えている。ホワイトカラー労働者を労働時間規制の適用対象から全面的に除外するというものである。

●派遣労働期間の延長と製造業への派遣解禁さらに労働者派遣法の改悪がある。「臨時の一時的」業務の派遣期間の制限を一年から三年に拡大し、現行三年間とされている二六業務の派遣期間の制限を廃止し、また派遣対象業務を製造業や社会福祉施設などでの業務にも拡大するなど、派遣労働のいっそうの拡大がねらわれている。

以上が今回の労働法制改悪の柱であるが、この他に、雇用保険料の負担を増やし給付を引き下げる目的とした雇用保険法改悪、職業紹介の無料原則をなし崩しにしようとする職業安定法の見直しなどが存在している。労働法制の改悪攻撃は、文字通り全面的なものである。

年に拡大し、現行三年間とされている二六業務の派遣期間の制限を廃止し、また派遣対象業務を製造業や社会福祉施設などでの業務にも拡大するなど、派遣労働のいっそうの拡大がねらわれている。

以上が今回の労働法制改悪の柱であるが、この他に、雇用保険料の負担を増やし給付を引き下げる目的とした雇用保険法改悪、職業紹介の無料原則をなし崩しにしようとする職業安定法の見直しなどが存在している。労働法制の改悪攻撃は、文字通り全面的なものである。

●派遣労働期間の延長と製造業への派遣解禁さらに労働者派遣法の改悪がある。「臨時の一時的」業務の派遣期間の制限を一年から三年に拡大し、現行三年間とされている二六業務の派遣期間の制限を廃止し、また派遣対象業務を製造業や社会福祉施設などでの業務にも拡大するなど、派遣労働のいっそうの拡大がねらわれている。

以上が今回の労働法制改悪の柱であるが、この他に、雇用保険料の負担を増やし給付を引き下げる目的とした雇用保険法改悪、職業紹介の無料原則をなし崩しにしようとする職業安定法の見直しなどが存在している。労働法制の改悪攻撃は、文字通り全面的なものである。

## 階級的労働運動 の前進かちとれ

春闘の敗北を乗り越え、労資協調主義の連合労働運動に対抗しうる階級的労働運動の建設に向けて全国各地でたたかいぬこう。次の六つのたたかいの推進に全力をあげよう。

第一に、最大の全人民的政治闘争課題となつてゐるイラク戦争反対闘争の先頭に立つことである。米英帝国主義の今回の戦争はイラクに対する明白な侵略戦争であり、それはまた全世界の労働者階級に対する重大な挑戦でもある。わが労働者階級はイラクの労働者人民に加えられている攻撃を、他人事とはけつしてみなさない。開始された侵略戦争を即時中止させるために、反戦の意志をもつあらゆる人々と抗議の声をあげるとともに、このような侵略戦争なくしては存在することのできない帝国主義を打倒し、戦争・支配・搾取・差別・抑圧・環境破壊の基盤を根本から断ち切ることを可能にする新たな社会（社会主義・共産主義社会）の建設をめざしてたたかわねばならない。今回のイラク侵略戦争を問斐入れずに支持した日帝・小泉政権は、いま有事法制定・改憲をもつて戦争国家化の動きを一段と強めている。さらにまた日帝は米帝と同盟して、第二次朝鮮戦争の準備を本格化し

ている。帝国主義本国の労働者階級としてわれは、自國帝国主義による侵略反革命戦争策動と正面からたたかう責務がある。反戦闘争の前進はまた、わが国の労働運動の再生・発展に必ず結びついていくことを確信しつつ、一人でも多くの労働者を反戦集会や街頭行動に組織しよう。

第二に、労働法制の全面的改悪とたたかうことである。すでに明らかにしてきたように、今回の法改悪は労働分野における「規制緩和」の流れをいっきに強めようとするものであり、資本家による「解雇の自由」を拡大し、失業者や不安定雇用労働者を政策的に増大させていくこうとするものである。その矛盾はとくに、労働組合もなく孤立無援の状態にある労働者に集中する。ある日突然、解雇を通告される、労働条件を一方的に引き下げられるといった事例が後を絶たず、多くの労働者が泣き寝入りを強いられている。今回の改悪は、こうした状況をいっそ悪化させていくものであり、許すことはできない。

したがって第三に、失業者、未組織労働者、非正規雇用労働者といった、弱い立場におかれている労働者の仲間の生活と権利を守るためにたたかうことである。最低賃金の引き上げ、解雇制限法の制定、均等待遇を要求し、年金・医疗保险・介護保険制度の改悪、消費税率アップなどの生活破壊とたたかい、外国人労働者を含むすべての労働者に生存権・労働権を保障させる社会的闘争を進めねばならない。そして、未組織労働者自身の決起による労働組合の結成や、合同労組の強化・拡大を支援してたたかわねばならない。

第四に、民間における破産・倒産・大リストラ、官公労における行革・民営化攻撃に対してもたたかうことである。ことし〇三年には、よりいっそう激しい倒産・リストラ・解雇の攻撃が予想される。民間の各種調査・研究機関は、小泉政権が掲げる不良再建処理加速策が実行に移された場合、企業倒産などによって新たに一〇〇万～三〇〇万人の「離職者」が発生すると予測している。官公労の職場においても、賃金と雇用に直接手をかける攻撃が始まっている。民営化・外注化をどんどん進めながら、同時にこれを恫喝の手段として賃下げや労働条件切り下げを迫るという卑劣な攻撃が強化されている。本年四月の郵政公社化をはじめ、大幅人員削減や賃下げをともなう行革・民営化攻撃が本格的に始まろうとしている。官民双方に根強く存在する本工主義・企業内組合主義とたたかい、國家・資本によって分断されてきた官民労働者の闘争の結合をいまこそ強化していくべきときである。

第五に、帝国主義グローバリゼーションとの闘争と労働者国際連帯を、労働運動の不可欠の課題として組織していくことである。何よりも、

日本帝国主義と日本資本によるアジア支配、アジア諸国労働者人民に対する搾取・収奪の強化とたたかい、各国のたたかう労働運動に対する連帯を強めていくことが必要である。現地労働者の低い賃金をあてにして生産拠点のアジア移転をいっそう大規模に進める日本独占資本は、日本と現地の労働者との分断をはかりながら、各国で切実な要求を掲げて資本との闘争に立ち上がる労働者たちを暴力的に弾圧している。これは韓国オムロン労組やフィリピン・トヨタ労組の争議に対する支援運動などとして取り組まれてきた。こうした実践にも学びながら、国際労働者連帯運動のいっそうの前進をかちとつていこう。

第六に、戦闘的労働組合の全国的結合を進め、労働者の全国闘争を組織する労働運動の「全国センター」建設を推進していくことである。激しいリストラや行革攻撃のなかで、ややもすれば左派労働運動の内部においても企業内や一地域に閉じこもってしまう傾向が発生しがちである。

ふたたび労働者の全国的闘争がもつ意義が強調されねばならない。もちろん日々の賃金・労働条件をめぐる職場での経済闘争は、労働者がみずからを革命的階級・革命の主体へと形成していくうえで大きな意義をもっている。職場経済闘争は労働者大衆の階級形成にとって不可缺少である。だが、それは労働者の全国的闘争として労働者は、日々の資本との個別の闘争の限界性を越えて、労働者階級を不可視の鎖でつないでいる賃金奴隸制度である資本主義は廢絶されねばならないという階級意識を大きく発展させていくことができる。反戦・平和、国際連帯、政策制度要求などを掲げ、労働者全国闘争が組織されねばならない。またこれを組織する全国的組織が準備されていかねばならない。全国一般全国協、全日建、全港湾による「統合を視野に入れた三単産共闘」は、現在のナショナルセントターをめぐる厳しい状況のなかで、労働者階級の全国闘争を組織する条件を大きく広げていくものである。また「戦争も雇用破壊も許さない！こんな解雇ルールはいらない！労基法大改悪N〇一二〇〇三・年春の共同行動」が呼びかけた四・二中央行動・集会は、同様の積極的な意義をもっている。

全国の先進的労働者のみなさん。連合とは一線を画して全国各地でたたかいぬかれている「もう一つの〇三春闘」の勝利のために奮闘しよう。労働者階級にしっかりと根をはりながら、労働者階級の革命的階級への形成をになう革命的労働者党の建設をめざす、わが共産主義者同盟（全国委員会）とともに階級的労働運動の再建と発展のために全力をあげよう。